

栄えあり上峰

学ぶ心
磨く心
鍛える心

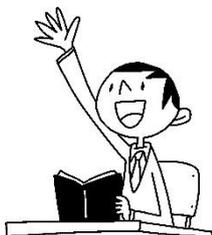
上峰中学校生徒指導部だより（文責 矢動丸）R7.6.2

0.2秒の返事の心意気

先々週は感染症で学級閉鎖になった学級もありましたが、先週からは徐々に日常を取り戻しつつあります。しかし、感染症を防ぐという意味では、私たちはこれまでのように、マスクの適切な活用や手洗いを徹底しながら、生活していかなければならないように感じます。

さて、前号の「挨拶の心」でお話した当たり前だけど大切なこと（挨拶・返事・聴く姿勢）の中で、今回は「本物の返事」です。キーワードは「素直」です。「素直」は人をどこまでも成長させるという力をもっています。「愚者は賢者に学ばず、賢者は愚者にも学ぶ」という言葉があります。愚かな人は、賢い人が言っている言葉ですら、何も学ぶことができません。「言われんでもわかっとるし…」と心を閉じるという具合です。

本当に賢い人は、愚かな人が言ったその一言にも学ぶことができる（そんな考え方もあるんだ）ということです。愚かな人は「素直」じゃない人と言い換えることができます。素直な人は、どんな人からでも、自分にとって不利な出来事からも、何かを学ぶことができます。大人になって、成功する（幸せになる）ための最大の武器は「素直」と言えるでしょう。上峰中でも、素直力を上げるために「挨拶・返事・聴く姿勢」を大切にしていきたいと考えています。さて、返事ですが、挨拶ができない人が社会で通用しないように、返事も同じ意味があります。上峰中では、「本物の返事」として、「0.2秒で弾むような、元気な返事」を目指します。



三重県のクロフネカンパニー代表の中村文昭さんという方は、ある時、焼き鳥屋で賢人塾というのを開かれておられる田端さんという方に会われます。当時、目的もなく東京に出てきたばかりの二十歳前後の中村さんは、当時野菜の行商をしておられた田端さんの生き様に感銘を受け、仲間に入れてくださいと頼みます。その時田端さんはこう言われました。

「俺は、従業員を雇う感覚はないよ。今の日本の若者は損得勘定だけで動く。肝のある人間がおらんようになってきた。ちゃんとした座標軸をもって、志がある人間がおらんようになってきた。だから、お前が本気でついて来たいというのだったら、肝のある人間に育ててあげるよ。その代わりに、本気でついて来いよ。」

武士道とか武道、茶道、華道、柔道、剣道…日本の伝統文化には道がつく。道の精神は、『守・破・離』（しゅはり）というものがある守・破・離…お前、向こう当分、まあ最低3年、俺からなんだかんだ、色々なことをやらされるけどね、『わが都合は言うなよ』（言われたことをとにかく「守る」時期）」とまず言われました。

「やがて、『破』『離』お前も、掟を破るタイミングが来る。お前が、自分の意見を言うてもいい時が来る。それまでは自分の都合は言うな。できない理由は言うな。逃げ道はつくるな！」

そんなこんなで、トラックに野菜を積んで行商が始まりますが、道行く人に注目を集めるように、人前で恥ずかしいことを新人はやらなくてはなりません。まっすぐそうなキュウリー一本持って、路上で立っているとわれ、「え～っ、そんなバカなこと」と思いながら、「冗談でしょ、勘弁してくださいよ」とごちゃごちゃ言ったようです。そしたら田端さんは、

「お前の都合は聞いてない」「お前ね、当分は野菜をどんな方法で売ろうか、売り上げはどんな風に上げ

ようか、などとそんなことは一切考えてよか！よかか、俺から言われる言葉に対して、返事は0.2秒でしろ」「返事をするのに、世間はみんな遅いだろう。返事するのに3~4秒、お前を含めてかかるだろうが、あれはね、返事をするのに自分にとって「損か得か」そろばんをはじくのに3~4秒かかっているんだ。」「お前もそう、でもな、ついてくるって腹を決めたんだったら、俺の言ってるセリフが、自分にとって「損か得か」とか、都合がどうかなんて一切考えな。0.2秒でただ返事をしろ！その心意気をまずに身に付けろ！」中村さんは、「何だこの人」と思いました。また、田端さんは言われます。

「俺は厳しいからお前は逃げ出すかもしれん。三重に逃げ帰っても、0.2秒の返事だけは心がけとけ。別の世界で生きても、0.2秒で返事。目の前にいる人にやっごらん。かなりの夢は叶うよ。かなりの出世はするよ。後から銭はついてくる。」「だってね、世の中に出たら、人と人との関わり合いぞ。そこで、0.2秒の心意気の返事ができる若者がおってみい。先輩たちは、ほっとけんばい。お前のことをポンポン引き上げてくれる。頭が良いとか悪いとかいう問題じゃなかばい。」誰からもかわいがられる人になるろう…返事・聴く姿勢は素直になる（心の器を立てる）一番の練習なのです…。

☆暑くなってきました！熱中症には十分気を付けましょう。

☆水分は多めに持ってこよう。足りなくなった場合には、水道水で補給できます。

☆帽子やスポーツドリンクを活用しよう。

☆夏服、中間服の際には、肌着は透けないように、無地を基調としたものを着用しよう。（白系統の物が望ましい）

☆セーターやベストについての取り扱いについては、「防寒具」として着用するようにしてください。まずは、ジャケットを活用して、体調管理をしていきましょう。

☆儀式的行事（入学式・卒業式、その他正装が望ましい場面）の際にはネクタイを着用しよう。通常の学校生活では、クールビズの観点から、着用しなくても構いません。

生徒会の方々が、上峰中の三本柱“挨拶・掃除・時間”について、基準を示してくれています。全校でしっかり確認し、Sランクをイメージして頑張りましょう。

挨拶の達人～上峰中の極意～

S	笑顔で挨拶できる。語先後礼。状況に合わせた挨拶ができる。立ち止まって挨拶できる。
A	大きな声で挨拶できる。自分から進んで挨拶できる。
B	挨拶はするが声が小さい。挨拶されてから返す。
C	挨拶をしない

掃除の達人～上峰中の極意～

S	“気づきの心”“感謝の心”“協力の心”の3つの心が育まれており、実践することができている。
A	自分の掃除区域を、無言で隅々まで掃除できている。
B	話し声が聞こえるが、隅々まで掃除できている。
C	掃除をしていない

時間の達人～上峰中の極意～

S	時間に余裕があり、授業の準備ができており、2分前学習などができている。さらに、別の人にも呼びかけ、集団をまとめようとしている。
A	時間に余裕があり、授業の準備ができており、2分前学習などができている。
B	ギリギリ時間に間に合う。
C	時間に間に合わない（登下校・授業の開始・休み時間との区別・期限のある提出物など）

